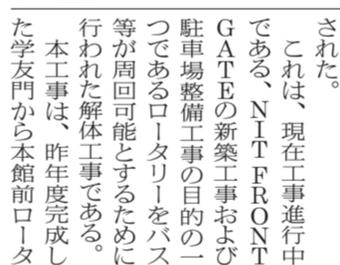


平成22年(2010年)11月1日発行

キャンパスリニューアル進捗状況

平成22年度に計画をして
いるキャンパスリニューアル
工事の中で、本館のトイ
レ改修、W4棟のデジタル
スタジオ・博物館展示室
の改修工事がすでに完了し
た。18号館新築工事の着工
をはじめ、今後は、本館玄
関リニューアル(NIT
FRONT GATE新築
工事)や駐車場の整備等、
キャンパスの環境が大きく
様変わりし、日本工業大学
の「顔」が32年ぶりに変わ
ることになる。これにより、
オープンキャンパスや開か
れた大学としての地域貢献
等で、外部からの来校者数
が増えている日本工業大学
の、イメージアップに資す
るものと確信している。

デジタルスタジオ完成
W4棟の改修工事は今年
度の4月に完了した。新学
科として誕生から2年目を
迎える生活環境デザイン学
科の新たな施設として、2
階(963㎡)フロアの
一部にデジタルスタジオを
設け最新のCAD3D台を導
入した。
また、1階の博物館の展
示・管理室は、空調が完備
され、快適なものとなった。
精密機械の性能維持にも効
果が期待される。



新たに開設したデジタルスタジオ

本館トイレ洋式化へ
食堂関連のトイレに引き
続き、一昨年度からスタ
ーとした本館トイレ洋式化工
事は、今年度も夏休みを利
用して、本館にある12箇所
のトイレ全てを洋式化およ
び温水洗浄機付便座へと改
修した。この工事は、ト
イレブースを増設して欲し
いと女子学生の声にも応
え、本館2階の男子トイレ
の2箇所を女子トイレに改
修している。洋式便座は、
衛生面を考慮して、温水洗
浄機能付きとした。男子ト
イレについても、同じ仕様
で改修を行っている。

短・中期に、新築される
棟のトイレを含め、キャン
パス内の既存トイレの全て
を洋式化および温水洗浄機
付便座へと改修するよう計
画している。



本館玄関リニューアルも着々と進行

正門および噴水・ロータ
リーは、昭和53年に完成を
したものであるが、本館の
象徴であった2階へと続く
屋外階段は、大学開学時(昭
和42年)からのもので、今
般、9月10日(金)に解体
された。
これは、現在工事進行中
である、NIT FRONT
GATEの新築工事および
駐車場整備工事の目的の一
つであるロータリーをバス
等が周回可能とするために
行われた解体工事である。
本工事は、昨年度完成し
た学友門から本館前ロータ
リーまでの通路が
整備されたことに
併せて、正門から
の景観を向上させ
ることを意図とし
たものである。工
事の内容は次の通
りである。

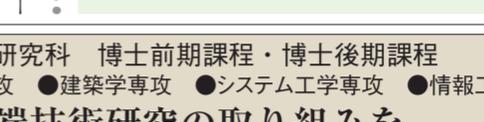
- ①噴水周囲にウイング形状の屋根付き歩道を設置
- ②正門門扉を安全・軽量化に更新
- ③学友門から天神門までのフェンスを延長
- ④駐車場の拡張と整備
- ⑤樹木移植等、緑地の整備
- ⑥外灯の省エネ化更新とエネルギーラインの構築

この完成により、さらに
人優先のロータリーとして、
学生や来客者を招き入れる
モダンなGATEへと、来
年3月末には生まれ変わる
予定である。

また、駐車場の整備にお
いては、大型バスが数台待
機可能なスペースを確保し
つつ、緑地を有効に配置し
て、学友門から続く歩道と
連続性を持った景観に仕上
がることになる。

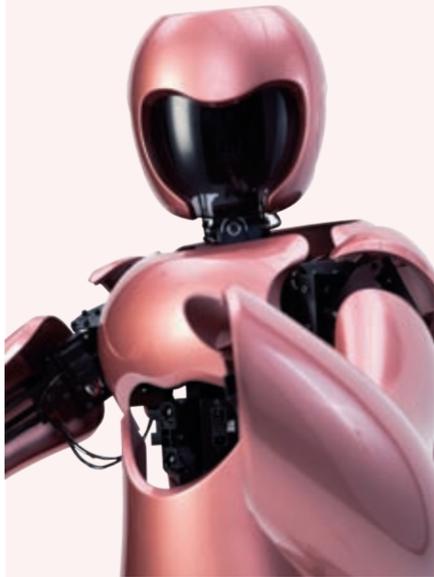
外灯の改修においては、
省エネ効果が高く、長寿命
の無電極照明器具(エパー
ライトやLED照明器具)
を採用している。周囲や足
元が明るくなり、歩行者の
安全面に配慮した駐車場完
成を目指している。

11月6日(土)
第11回ホームカミングデー開催
今年で11回目を迎えるホームカ
ミングデーが、11月6日(土)に開催される。
今回から全卒業生の皆さんを対象として
いる。これまで参加頂けなかった皆さん
も是非参加いただきたい。また研究室
OB会参加の皆さんにも懇親パーティへ
参加願いたい。当日は、博物館・各セン
ターを中心とした学内見学ツアー、懇親
パーティを行う。(ホームカミングデー
実行委員会)



クライマックスでは参加者全員で校歌を合唱(昨年の様子)

ロボットの名称が
「ニコット」に決定!



「NITRO II」では味気
ないとの意見から、名称公
募に踏み切った。
公募には本学学生を中心
に、8歳の小学生から79歳
の高齢の方まで幅広く応
募があり、応募総数は
242件にも上った。この
中から、厳正に審査を行い
「ニコット」が採用された。
名前の由来は「日本工業大
学」の「日工」と「ロボッ
ト」の「ット」を組み合わ

せたもの。ロボットにも笑
顔を・・・という願いから
選ばれた。応募された方3
名(吉永吉正さん、菊池清
子さん、牛腸毅さん)は、
いずれも春日部市や宮代町
に在住の一般の方。一万円
の図書券が贈られた。なお
次点には「イブ」「エデュカ
」「ピーチャー」「ニトロ」「ピ
ニット」「ブラウ・レブル」
等が選ばれた。

18号館新築工事
創造システム工学科・電
気電子工学科・電気実験セ
ンターの実験研究棟として
18号館新築工事が進められ
ている。現在防水工事が完
了し、内部の仕上げ工事に
移行している。

また、本工事に併せ、9
号館の外壁改修を行う予定
であり、平成23年2月末の
18号館新築工事竣工に合わ
せ、順調に工事が進められ
ている。

本学・創造システム工学
科では、昨年度同学科とロ
ボット製造メーカー・ZMP
Pとで共同開発した人間型
ロボット写真IIの名前を
公募していたが、このほど
「ニコット」と命名すると
発表した。同ロボットは頭
部・腕・脚部に20の関節を
持ち、教育用としては初と
なる本格的な大型ヒューマ
ノイド(身長126cm、体
重15kg)。開発コード

ロボット名	由来	応募者氏名(敬称略)
決定名称		
ニコット	ニコウ(日工) 大のロボットなので、	吉永 吉正
	日本工業大学の「日工」とロボットの「ット」でニコット	菊池 清子
	日本工業大学ロボットから名付けました。またロボットでも笑顔があるようにと言う気持ちからニコットとしました。	牛腸 毅
次点(5点)		
イブ	優しいようなロボットだから	日高 俊介
エデュカ(Educa)	ロボット=自動装置、人造人間。転じて人に操らせる人。本来は「教員」。この言葉のイメージを一新し、「教育者」の"educator"から「エデュカ」としました。	高山 勇太
Peacher(ピーチャー)	Peach(桃色、すてきな人)+Teacher(先生、教師)	田村 康晃
ニトロ	NIT+ROBOT→NITRO	中村 聖
pinitt(ピニット)	ピンクのpiとnitとロボットをかけて	阿部 祐士
根津賞(デザイナー根津氏選定)		
ブラウ・レブル	身長126cmなので、電気回路に使う抵抗についている色とその意味から、1をbrown、2をred、6をblueとし、そこからbrowreblu。	横浜 正人

第42回 若杉祭 テーマ 「花音~エーデルワイス」
11/5▶7



今年もステージイベント、模擬店、各サークルの企画など、さまざまな催しが行われる(昨年の様子)

今年もこのように若杉祭を開催
できるのも、学生自治会、参加団体
大学関係者の皆様の多大な協力
があつてのことと大学祭実行委員
会一同感謝している。
今年の若杉祭のテーマは、「花音
~エーデルワイス」である。カ
ンとは、ひとつの旋律を少しずつ
ずらして演奏する音楽様式のこと
で、当委員会の役員、参加団体、そ
してご来場いただいたお客様で若
杉祭という音楽をつくり、楽しん
でいただきたいという気持ちが込
められている。また、エーデルワ
イスの花言葉には、大切な思い出
という意味があり、若杉祭という音
楽を大切な思い出にしたいとい
う思いから決定した。
今年の若杉祭の企画だが、毎
年恒例の「秋のからっ風コンサート」
には、昨年歌手デビューした
「ベッキー」がライブを行う。
その他、お笑い芸人や声優を迎え
るなど豪華企画の連続である。
そして、子供から大人まで楽し
める「サイドイベント」、豪華景品
が当たる抽選会「後夜祭」、野外ス
テージイベントなど様々な企画
が用意してある。
是非とも皆様には足を運んで
いただき楽しんでいただきたい。
(大学祭実行委員会委員長
宮内祐太)

日本工業大学 平成23年度入試日程

日本工業大学 工学部
●機械工学科 ●ものづくり環境学科 ●創造システム工学科 ●電気電子工学科 ●情報工学科 ●建築学科 ●生活環境デザイン学科

入試種別	日 程		
特別奨学生入試 【筆記試験、調査書 および面接による選考】	第2期		
	出願期間	1/7(金)~1/27(木)	奨学生には、1年次の学費の半額を免除
一般入試	一般入試A		
	出願期間	1/7(金)~1/27(木)	2/3(木)~2/16(水)
センター利用入試	センター利用入試A		
	出願期間	1/7(金)~1/31(月)	2/3(木)~2/16(水)
AO入試 ・AOエントリー入試 ・AOコーディネータ入試	第3期		
	エントリー入試のエントリー期間	10/13(水)~11/19(金)	11/25(木)~12/16(水)
コーディネータ入試の申込期間			
平成23年3月上旬まで、随時受付			
書類受理後に連絡			
出願期間	12/3(金)~12/14(火)	1/7(金)~1/12(水)	3/4(金)~3/11(金)
選考	書類審査等		
合格発表	12/25(土)	1/21(金)	3/19(土)

日本工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程
●機械工学専攻 ●電気工学専攻 ●建築学専攻 ●システム工学専攻 ●情報工学専攻

本学で先端技術研究の取り組みを
社会人大学院生 募集! (日本工業大学 社会人特別選抜)

■平成23年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	出願期間	試験日	試験内容	合格発表	入学手続締切
二次募集	2月14日(月)~2月18日(金)	2月25日(金)	書類選考・面接	3月4日(金)	3月14日(月)

願書のご請求およびお問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係 TEL0480-33-7507(直通)

【試験会場は本学のほか、盛岡・長野・新潟・東京を設置!(専門高校入試(B工業科)、一般推薦入試(公募制))】
*専門高校入試(B工業科) <出願期間>第1期:10/25(月)~11/10(水)、第2期:11/25(木)~12/14(火)
*一般推薦入試(公募制) <出願期間>第1期:11/1(月)~11/10(水)、第2期:11/25(木)~12/14(火)
*各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。
願書のご請求およびお問い合わせ先
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学 教務部入試室
☎0120-250-267 URL: http://www.nit.ac.jp/ E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

第24回 建築コンペ

78校から293点の応募「内」と「外」の中間領域をもつ家

11/7に表彰式、審査委員長のスライド・レクチャーと講評を開催

1等 宮崎 梓さん 受賞作品



「内と外の中間領域をもつ家」ということで、家の中に居ても外が感じられるような、外に居てもなぜか家にいるような安心感が得られる作品を作りたいと思いました。



山梨県立甲府工業高等学校
建築科(3年)
宮崎 梓

試行錯誤を繰り返して完成

受賞の言葉

建築を学ぶ日本全国の高校生を対象に実施される日本工業大学建築設計競技は、今年度で第24回となる。今回は、審査委員長に建築家の五十嵐淳氏を迎え、「内」と「外」の中間領域をもつ家」を課題とした。78校より293点の応募があった。入賞作品は11月5日(金)から7日(日)まで、本学大学祭期間中にLCCセンターで展示され、7日には同センター・マルチメディア教室で表彰式と審査委員長による講評とスライドレクチャーが行われる。

「夏を制するものはコンペを征する」という先生の言葉を信じ、一生懸命取り組んでよかったです。

第24回 日本工業大学建築設計競技入賞者

審査結果	高校・高専名	氏名
一等	山梨県立甲府工業	宮崎 梓
二等	神戸市立科学技術	福田 祐樹
三等	山梨県立甲府工業	小澤 孝良
審査員賞(五十嵐淳)	埼玉県立熊谷工業	田端 由香
審査員賞(川村清志)	滋賀県立安曇川	○岸之上 晃生 古閑 愛美
審査員賞(足立真)	新潟県立上越総合技術	大島 夏紀
佳作	埼玉県立熊谷工業	浦田 昭洋
	神戸市立科学技術	大城 那哉
	神戸市立科学技術	早川 凌平
	大分県立日田林工	深田 有希也
	北海道北見工業	三科 優斗
	静岡県立沼津工業	山口 耕平
	静岡県立沼津工業	渡辺 夢代
奨励賞	大阪市立工芸	井筒 周作
	埼玉県立川越工業	岡田 慎也
	兵庫県立兵庫工業	川口 弘豊
	静岡県立科学技術	鈴木 勝也
	兵庫県立東播工業	太白 武志
	群馬県立前橋工業	堤 康浩
	北海道札幌工業	鳥海 雄太郎
	神戸市立科学技術	中野 里奈
	福井県立武生工業	福山 彰
	国立呉工業高等専門学校	堀野 沙帆
奨励学校賞	兵庫県立兵庫工業	本田 徳子
	兵庫県立神戸工業	本村 信良
	宮城県工業	山田 寿真
	新潟県立新発田南	渡辺 万梨
	宮城県古川工業	
	福島県立勿来工業	
	岐阜県立岐阜総合学園	
	大阪市立工芸	

○印は共同作品の代表者です。

講評

新たな概念へ繋がる可能性に満ちた作品に出会うことができた。

実施コンペの審査員は経験していたが、高校生対象のアイデアコンペは初めてだし、しかも出題までとなると正直、戸惑った。大学

生が相手なら出題内容も遠慮なくだせるが、高校生だと少し考え込んだ。建築に触れて間もない人達にとつて、何かその後のキッカケ

となるような課題を探し、同時に僕自身にとっての関心事と重ねてみた。ここ数年、地方の様々な建築団体からレクチャーに呼んでもらう機会が増えた。その時に色々な建築を見るようにして、古い建築に触れることも多いのだが、その都度、考えさせられる。それは「建築とは何のために作られるか」という素朴な疑問である。昔の建築は現代に比べ構造形式や素材の種類など圧倒的に少ない。しかし、それ故にシンプルで必然性に満ちている。そんな古い建築達に共通しているのが縁側などの半屋外屋内空間を含めた入子の構成である。それが生まれた訳は、例えば構造や雨仕舞い、熱環境による必然性だ



いがらし じゅん
五十嵐 淳
(建築家/株式会社 五十嵐淳建築設計事務所 代表)
1970年北海道生まれ。1997年五十嵐淳建築設計事務所設立。北海道工業大学・名古屋工業大学非常勤講師。主な作品に、矩形の森(2000年)、風の輪(2003年)、光の矩形(2007年)など。

第2回 3D-CADプロダクトデザインコンテスト

全国からテーマ部門118点、自由テーマ部門30点の出品



10月10日(日)、本学で第2回3D-CADプロダクトデザインコンテストの授賞式が行われた。今回、全国高等学校24校からテーマ部門「子供が乗る遊具」118作品、自由デザイン部門「自由テーマ」30作品の出品があった。授賞式当日は、根津孝太氏(znug design取締役)の講演、入賞者全員の写真撮影が行われた。最優秀賞はテーマ部門が群馬県立伊勢崎工業高等学校、自由デザイン部門が兵庫県立姫路工業高等学校が受賞した。



(左上)根津氏の講演 (右上)テーマ部門最優秀作品 (下)入賞者

賞	高校名	代表者
テーマ部門:「子供が乗る遊具」		
最優秀賞	群馬県立伊勢崎工業	有谷 祥太郎
znug design賞	兵庫県立姫路工業	下山 仁美
優秀賞	埼玉県立川越工業	池田 ななこ
優秀賞	日本工業大学駒場	岡添 翔太
優秀賞	徳山工業高等専門学校	三浦 美奈
優秀賞	群馬県立前橋工業	指田 拓
特別賞	兵庫県立姫路工業	有田 翔
特別賞	群馬県立太田工業	金子 諒祐
佳作	群馬県立前橋工業	千代 宏太
佳作	岐阜県立岐阜総合学園	中川 勇吾
佳作	宮城県仙石沼向洋	小野寺 浩務

賞	高校名	代表者
テーマ部門:「子供が乗る遊具」		
佳作	群馬県立前橋工業	多摩川 裕
佳作	京都府立工業	藤田 真輝
佳作	岐阜県立岐阜総合学園	角 翔太
佳作	群馬県立高崎工業	松尾 顕英
自由デザイン部門		
最優秀賞	兵庫県立姫路工業	和田 剛
優秀賞	秋田県立大曲工業	進藤 直樹
優秀賞	徳山工業高等専門学校	家重 直也
特別賞	兵庫県立姫路工業	景山 智晃
佳作	東京都立総合工科	谷田部 諒平
佳作	栃木県立真岡工業	北條 和輝

第4回 マイクロロボコン高校生大会

全国から219台がエントリー・優勝は都立総合工科高校の土田君



競技の様子と上位入賞者

去る9月11日(土)に、本学でマイクロロボコン高校生大会が開催された。本コンテストは、1インチ角のロボットが所定のコースを自動的に走行し、時間を競うもの。わずか1インチ角のロボット内にCPUやバッテリーを搭載し、数十cmの大きさのロボットに匹敵する機能を持つ様に設計要求される。ロボットの構成材料も実習等で余った端材で製作が可能で、マイクロ化により省エネルギー・省資源をめざすエコロジーなロボットコンテストでもある。本コンテストは学園創立百周年行事の一環として実施され、その後、高校関係者に好評を博し、第4回大会を開催する運びとなった。今大会では全国から219台がエントリー、参加者は引率の先生等を含め250人近くにのぼった。またマスコミの関心も多く集め、NHKのテレビ放映を始め毎日新聞社などが取材に訪れた。優勝は、東京都立総合工科高等学校の土田勝利君。

順位・賞	高校名	操作者	ロボット名
優勝	東京都立総合工科	土田勝利	総工colombia
準優勝	東京都立総合工科	中山惣一郎	神の粥
3位	東京都立総合工科	植村将	B★RS
4位	長野県飯田工業	原健太	三郎
5位(敢闘賞)	東京都立総合工科	中山惣一郎	メルトダウン
5位(敢闘賞)	東京都立総合工科	兼子貴裕	あずさ
5位(敢闘賞)	長野県飯田工業	大平光介	魚花一参
5位(敢闘賞)	東京都立総合工科	植村将	キャサリン
デザイン賞	岩手県立千厩	藤野隆良	イクラちゃん
ものづくり環境学科賞	長野県箕輪進修	伊藤貴樹	Cube3
技術賞	秋田県立大曲工業	橋渡樹	大工T-II
学長賞	長野県飯田工業		

日本工業大学のポリシー

日本工業大学工学部のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、並びに大学院工学研究科博士前期課程・後期課程のアドミッションポリシーを次のとおり公開いたします。

■日本工業大学工学部のアドミッションポリシー（入学者受入れ方針）■

日本工業大学は、工学への探求心の高さと、専門を学ぶに十分な能力を評価基準として、入学者を受け入れます。また、志願者の入学前学修履歴の多様化にあわせて、以下に示す各種入試方式を採用し、一人ひとりの優れた点を評価します。

1. 一般入試：筆記試験（数学・理科・外国語のうち2教科を選択）の成績および調査書により選考。
2. 専門高校入試：課題研究などの成果と学業成績（A工業科）、学業成績、特長・特技および自己表現力（S工業科・B工業科）により選考。
3. 一般推薦入試：学業成績（指定校）、学業成績、特長・特技および工学への関心度（公募制）により選考。
4. AO入試：面接、課題作品・レポートの内容および調査書（AOエントリー）、AOコーディネーターによる面接と書類審査（AOコーディネーター）により選考。
5. センター利用入試：国語（機械工学科・電気電子工学科を除く）、数学・理科・外国語の4教科15科目から、2教科2科目以上を選択し、高得点の2科目（1教科につき1科目）の合計点と調査書により選考。
6. その他の入試：特別奨学生入試、社会人入試、帰国子女入試、外国人留学生入試。

■日本工業大学工学部のカリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）■

「実工学教育」の理念のもと、教育目標を達成するため、工学部のカリキュラムは、以下の方針に沿って編成し、実施します。

1. カリキュラムは、教養科目、専門科目から構成されます。
2. 初年次においては、入学者の学修履歴にあわせて、「工学集中コース（普通高校出身者向け）」・「工学発展コース（専門高校出身者向け）」の2種のカリキュラム・コースを用意し、個性の伸長を図ります。
3. 実験・実習・製図などの体験学習と、それに必要な基礎や理論を、低年次から平行して学ぶ「デュアルシステム」を採用します。
4. 本学独自に開発した「融合科目」により、数学・物理・英語と専門を関連づけて学びます。
5. 「工房科目」（平成17年度・文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」採択）により、ものづくりを、企画・設計から製作・施工まで一貫して学びます。
6. 新入生は、少人数クラスの「フレッシュマンゼミ」により、一人ひとりを大切に教育が受けられます。
7. 4年次には全員が「卒業研究（卒業計画）」に取り組み、課題発見能力・問題解決能力が育まれます。
8. キャリア教育により、職業意識を醸成し、就職力を高めます。
9. 教養科目に環境系科目を多く配置し、21世紀の地球環境に配慮できる技術者を育てます。

■日本工業大学工学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与方針）■

プロジェクトリーダーとして生産現場を牽引する技術者、アジアをはじめ世界で活躍できる技術者、21世紀の地球環境を工学の視点から見つめることができる技術者を育成します。このような技術者に必要な、社会で価値あるものをかたちにする「実現力」、社会の変化を見据え、継続的に価値を生み出す「適応力」、社会が必要とする、新しい価値を生み出す「創造力」を育みます。学士（工学）の学位授与にあたっては、所定の124単位および要件を充足するとともに、「卒業研究（卒業計画）」を必修とします。指導教員のもと、卒業論文あるいは卒業設計を完成させ、成果を公開します。卒業研究（卒業計画）は、「実工学教育」の集大成であり、その修得は「課題発見能力」と「問題解決能力」が十分に養われ、技術者として自信をもって社会へ踏み出すことができる証です。

■日本工業大学大学院工学研究科博士前期課程のアドミッションポリシー■

本大学院工学研究科博士前期課程が求める学生は、「実工学」の理念のもと、自ら進んで研究・開発計画を立案し、推進できる、積極性と実行力のある人物です。その指標として、「卒業研究（卒業計画）」の内容・成果と、これからの研究計画を重視します。また、アジアをはじめ世界で活躍できるプロジェクトリーダーを目指す意志と、語学力向上への意欲を重視します。

■日本工業大学大学院工学研究科博士後期課程のアドミッションポリシー■

工学研究科博士後期課程には、21世紀の産業界を担う、研究者・開発技術者を養成する大きな目的があり、入学希望者にはその資質を求めます。具体的には、修士論文の内容、独創性を重視するとともに、学会等外部での発表成果と評価も判断材料となります。

詳細は<http://www.nit.ac.jp/campus/data.html>の「ポリシー」のPDFファイルをご覧ください。

秋季学位記授与式

平成22年9月20日(月)、秋季学位記授与式、留学生別科修了証書授与式が本学14号館5階会議室にて挙行された。

この日卒業(修了)したのは、学部47名、大学院博士前期課程4名、博士後期課程3名、留学生別科3名である。小林後援会長、香澤工友会会長、大森日本工業大学学術高等専攻校長をはじめ多数の来賓や父母、教員が出席し、柳澤学長が告辞、大川理事長が祝辞を贈った。式後は、友人や指導教員と記念撮影をするなど別れを惜しんでいた。



青少年の健全育成を目指す「埼玉県青少年夢のかけはし事業」への協力であるスポーツ、科学、ものづくりに関わる一流人の技に触れ、体験する企画。8月28日(土)県内全域から小学生と保護者40組を招いた。スチューデントラボを会場に、「偏光板万華鏡」(服部准教授)、「二足歩行紙ロボット」(増本講師)製作に取り組んだ。万華鏡を覗き、光の屈折が織り成す美しさに歓声を挙げ、バランスのとりやすい紙ロボットの動きを見つめる子供と引率者の姿がとても印象的であった。

日本工業大学のおもしろものづくり教室

専門職大学院、秋たけなわ

神田の街路樹も色づき秋も深まるとともに、専門職大学院は勉学・研究や各種行事に佳境を迎えている。

6期生は発展科目を中心に多岐にわたるMOETの学習に打ち込むのに加え、秋学期からは特定課題研究も始まり、各担当教員の指導のもと、各自の課題に真剣に取り組んでいる。

秋はさまざまな行事も目白押しであるが、10月16日(土)には、東京の「地の利」を活かした中小企業の経営戦略をテーマに中小企業技術経営シンポジウム(副研究科長 山岡 彦)

専門職大学院 オープンキャンパス日程

平成22年12/4(土) 平成23年2/12(土)

説明会、模擬授業、パネル討論会、キャンパスツアー等を予定しています。◆事前に右記の申込み専用サイトからお申し込みください。 <http://www.secure01.jp/mot/> ◆詳細・最新情報についてはウェブサイトをご覧ください。 <http://mot.nit.ac.jp/>

専門職大学院 入試日程

	第2回募集	第3回募集	第4回募集
出願期間	平成22年11/1(月)~ 平成22年11/8(月)	平成22年12/20(月)~ 平成23年1/11(火)	平成23年2/14(月)~ 平成23年2/21(月)
試験日	平成22年11/14(日)	平成23年1/16(日)	平成23年2/27(日)
合格発表日	平成22年11/17(水)	平成23年1/19(水)	平成23年3/2(水)
入学手続締切日	平成22年11/29(月)	平成23年1/31(月)	平成23年3/14(月)

日本工業大学 専門職大学院 大学院技術経営研究科 技術経営専攻
TEL. 03-3511-7591 FAX. 03-3511-7594 E-mail: mot@kanda.nit.ac.jp



熱心に指導を受ける子供たち

(別表3) 貸借対照表

科目	資産の部		増減
	H21年度	H20年度	
固定資産	38,007,967	36,784,343	1,223,624
有形固定資産	20,682,878	21,034,043	△ 351,165
その他の固定資産	17,325,089	15,750,300	1,574,789
流動資産	4,477,838	4,700,352	△ 222,514
合計	42,485,805	41,484,695	1,001,110

(別表4) 資金収支予算書

科目	H22年度		増減
	H22年度	H21年度	
収入の部			
学生生徒等納付金収入	5,903,313	5,962,190	△ 58,877
手数料収入	48,121	51,980	△ 3,859
寄付金収入	89,555	91,000	△ 1,445
補助金収入	585,600	590,022	△ 4,422
資産運用収入	24,500	25,500	△ 1,000
事業収入	41,241	39,386	1,855
雑収入	162,407	152,237	10,170
借入金収入	0	0	0
前受金収入	1,886,336	1,894,836	△ 8,500
その他の収入	1,456,896	1,262,184	194,712
資金収入調整勘定	△ 2,152,949	△ 2,098,187	△ 54,762
前年度繰越支払資金	4,182,675	4,455,983	△ 273,308
収入の部合計	12,227,695	12,427,131	△ 199,436

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	H21年度	H20年度	増減
補助金/帰属収入	8.48	6.91	1.56
人件費/帰属収入	35.98	34.05	1.93
教育研究経費/帰属収入	35.91	35.78	0.13
管理経費/帰属収入	5.89	5.18	0.72
借入金等利息/帰属収入	1.23	1.31	△ 0.09
人件費/学生納付金	43.07	42.85	0.22

(別表1) 資金収支計算書

科目	H21年度		増減
	H21年度	H20年度	
収入の部			
学生生徒等納付金収入	6,415,217	6,526,959	△ 111,742
手数料収入	68,339	53,417	14,922
寄付金収入	121,066	619,051	△ 497,985
補助金収入	651,036	567,925	83,111
資産運用収入	156,923	159,688	△ 2,765
資産売却収入	777	0	777
事業収入	75,646	82,037	△ 6,391
雑収入	178,630	179,841	△ 1,211
借入金収入	0	0	0
前受金収入	2,152,949	2,098,187	54,762
その他の収入	437,980	812,224	△ 374,244
資金収入調整勘定	△ 2,375,206	△ 2,396,514	21,308
前年度繰越支払資金	4,455,983	3,153,231	1,302,752
収入の部合計	12,339,340	11,856,046	483,294

(別表2) 消費収支計算書

科目	H21年度		増減
	H21年度	H20年度	
消費収入の部			
学生生徒等納付金	6,415,217	6,526,959	△ 111,742
手数料	68,339	53,417	14,922
寄付金	130,527	638,194	△ 507,667
補助金	651,036	567,925	83,111
資産運用収入	157,454	160,991	△ 3,537
資産売却差額	777	0	777
事業収入	75,646	82,037	△ 6,391
雑収入	178,934	180,165	△ 1,231
その他の収入	0	3,720	△ 3,720
帰属収入合計	7,677,930	8,213,408	△ 535,478
基本金租入額合計	△ 1,073,935	△ 638,998	△ 434,937
消費収入の部合計	6,603,995	7,574,410	△ 970,415

消費支出の部

人件費	教育研究経費	管理経費	借入金等利息	資産処分差額	その他の支出	消費支出の部合計
2,762,858	2,796,705	452,477	94,368	61,557	189,327	6,317,446
2,796,705	2,938,515	425,107	107,982	241,470	214,611	6,724,390
△ 233,847	△ 181,656	△ 27,370	△ 13,614	△ 179,913	△ 25,284	△ 406,944
286,549	850,200	850,200	0	0	0	△ 563,471
△ 5,432,691	△ 6,282,711	850,200	0	0	0	△ 5,432,691
△ 5,146,142	△ 5,432,691	286,549	0	0	0	286,549

第43期決算・第44期予算 日本工業大学の財務状況について

一・はじめに

第四十三期決算、第四十四期予算が公認会計士及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されましたので、ここに財務諸表をお知らせし、関係各位のご理解と引き続きのご協力をお願いいたします。平成二十一年度(二〇二〇年度)に本学が行った主な事業等は以下の通りです。①学生に対する取り組みでは、障がいを持つ

二・平成二十一年度決算について

学校法人会計基準に基づいた財務諸表には次の三表があります。①全ての資金の流れとその期末を示す「資金収支計算書」(別表1)、②各年度における収支の均衡状態や財政の健全さを見出すための「消費収支計算書」(別表2)、③決算時点における財政状態を明らかにした「貸借対照表」(別表3)の三表です。また(別表5)

(消費収支計算書) 収入の部

学生生徒等納付金は前年度比一億一千四百万円の増加となりました。寄付金は一億五千万円の減少、補助金は一億五千万円の減少、IC T等の要因もあり八千万円の増加となりました。資産運用収入では引き続き国債を中心とした安定運用を行っており、金利の低下もあり微減しました。事業収入は企業からの受託研究が主

支出の部

人件費は前年度比三千三百万円の減少となりました。教育研究経費は総額で二十七億五千六百万円となり、前年度比一億八千万円の減少となりました。主な要因は減価償却費の減少によるものです。学生への還元を表す教育研究費比率(別表5)も約三五%であり、全国的にも高い水準を維持しています。

三・平成二十二年年度予算について

平成二十二年年度予算書の詳細は別表4のとおりです。主たる収入である学生生徒等納付金収入は七学科体制を意識しながらも、学生数を厳しく予測した予算といたしました。補助金収入は今後も積極的に申請・獲得を目指します。教育研究経費支出は直接学生諸君に係る経費のため高水準を維持すべく予算といたしました。施設・設備関係支出では新学科棟を意識した予算といたしました。

四・むすび

平成二十二年年度、補助金が大きく変貌する中、大学は、充実した教育を推進してゆく所存です。そのためには、学生、ご父母、卒業生の皆様のご理解が不可欠であります。これからも関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます。(財務部)

